

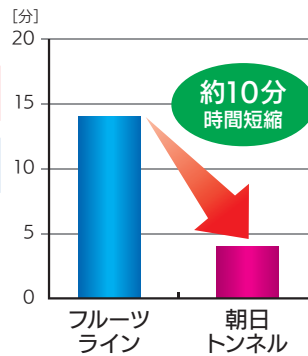
トンネルの開通による地域活性化

－ 朝日トンネルの整備 －

朝日トンネルの整備により、石岡市辻交差点⇨朝日トンネル南交差点の所要時間の短縮、また、積雪・路面凍結による通行止めの回避に貢献。

◆朝日トンネル利用で10分(71%)の時間短縮

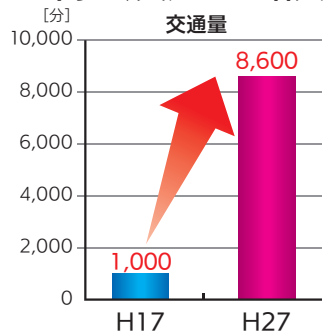
- ・ 辻交差点及び朝日トンネル南交差点の2点間におけるトンネル開通前後の移動時間を比較。
- ・ 朝日峠を通過する従来の経路及び朝日トンネルを通過する新たな経路を法定速度で走行した場合の移動時間をそれぞれ算出し、比較した結果、朝日トンネルの利用により10分もの時間短縮が図られました。なお、実走した結果、ほぼ同様の結果が得られています。



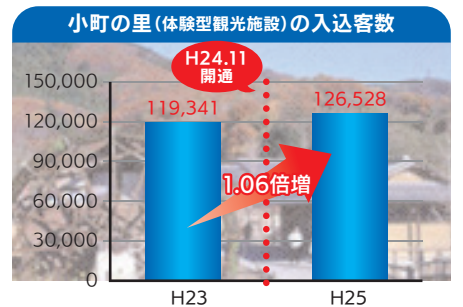
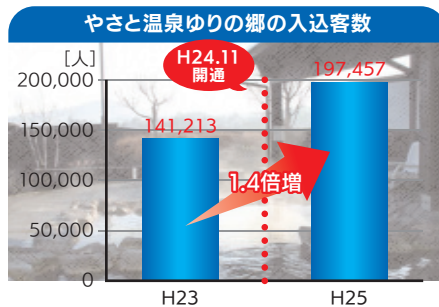
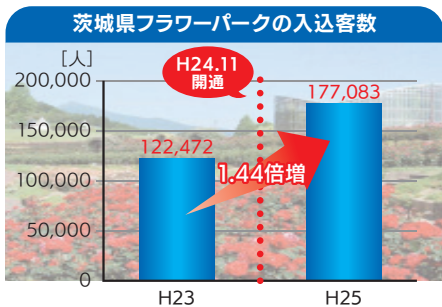
◆つくば方面へのアクセス向上、交通量も増大

- ・ 石岡市街地からつくば方面へのアクセスが向上したことにより、首都圏との連携強化も大きく向上。

(所要時間)
 石岡市柿岡地区～つくば駅間
 <開通前> ⇒ <開通後>
 約40分 約30分



トンネル開通によるアクセス向上により茨城県フラワーパーク等周辺観光施設の利用客数の増加に貢献。



▲開通によって時間短縮が図られた「朝日トンネル」

首都圏からバスなどで訪れるツアー客の方々は従来、峠や狭い道を嫌って千代田石岡ICを利用されていましたが、朝日トンネルの完成により土浦北ICを利用されるようになりました。その結果、移動時間の短縮ばかりではなく、「小町の里」↓「県フラワーパーク」↓「ゆりの郷」↓観光果樹園という観光コースができあがりつつあると感じています。トンネル開通後、利用客は増える傾向にあり、特に首都圏からの団体客は平成24年に比べて約1.6倍に増加。利用されるお客さまからも「便利になった」と喜びの声が寄せられています。



茨城県フラワーパーク 園長 轟 吉美氏

時間短縮のほか
 観光ルートの定着